

ラジオサージェリーの基本操作：切開・凝固のポイント



YouTube 動画閲覧

「1.皮膚切開(獣医科)」で検索

表皮切開



切開優先の皮膚切開

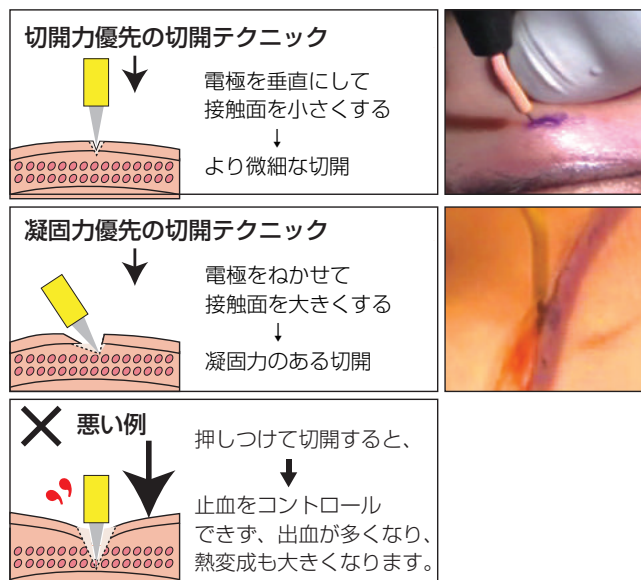
●切開テクニック

メス先電極に力をかけず、軽いタッチでなめらかに切開します。

メス先と組織との接触面積を小さくすると切れ味が良くなります。同じ部位を何度も重ねて切開するような場合には、各切開に数秒以上の間隔をおいて熱を帯びた組織を冷ますようにします。切開と同時に凝固効果が必要とする場合には、メス先電極をゆっくり動かし組織への蓄熱量をコントロールします。

メス先電極を組織に押しつけると、組織片などが付着して切開力が低下します。

乾燥した水分の少ない組織は湿ガーゼで潤いを与えて切開します。



皮下切開



止血優先の切開

●混合切開のポイント

エンパイアニードル電極は、円錐形状の側面部分を使うことにより、皮下組織を凝固しながら切開を行います。

また、切開の際に出血したとき、高周波ラジオ波メスの特徴である焦げない凝固特性により、組織を白く煮えるように凝固することができます。